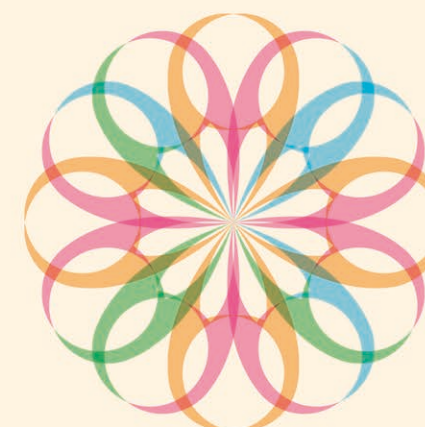




ステキな輪。

つながる

きれいに、輝き
かしこく、かせぎ
大輪の花になる。



やまぐち
農林漁業ステキ女子

やまぐち 農林漁業ステキ女子

YAMAGUCHI WOMAN POWER! VOL.2

発行：2021年3月
発行元：山口県農林水産部 農林水産政策課 農山漁村女性活躍推進班
〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号
TEL：083-933-3370
FAX：083-933-3339

やまぐち 農林漁業ステキ女子

とは

山口県内には、自身の「ステキ・スタイル」を持ち、農林漁業を職業として活躍している女性の仲間がたくさんいます。私たちは、「きれい」「輝き」ながら、「かしこく」「かせぐ」ステキ女子を目指して、経営発展につながるさまざまな取り組みを展開しながら、農林漁業の魅力を発信していきます！



やまぐち
農林漁業ステキ女子

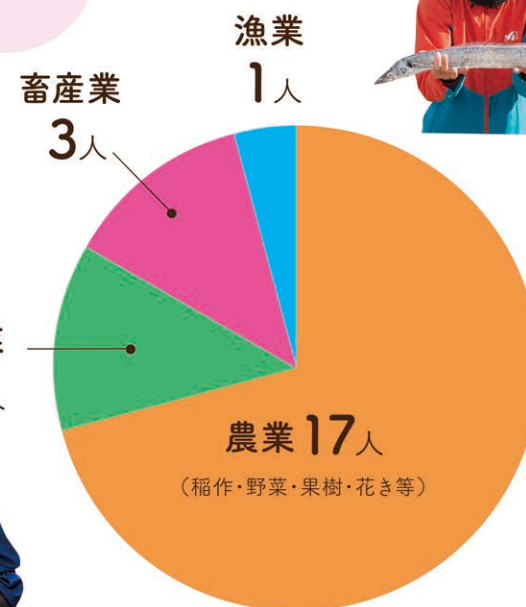
Q 人数は？

24人
(令和3年1月末現在)



美祿市
園田 智子さん

Q 職種別の割合は？



防府市
小林 望さん



柳井市
齋藤 めぐみさん



山口市
梶原 優唯さん



山口市
久保 伶名さん

Q 加工事業に取り組んでいる？



全体の半数以上が取り組んでいます♪



周防大島町
上妻 あかねさん



周南市
須田 加弥子さん

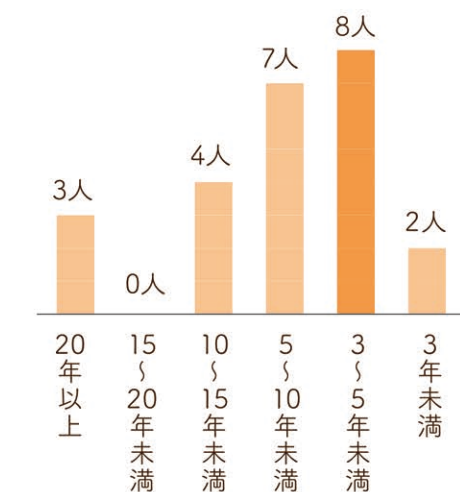
Q 年代は？



Q 経営参画状況は？



岩国市
山中 歩さん



山口市
長尾 智美さん



やまぐち
農林漁業ステキ女子

「きれいに、輝き、かしこく、かせぐ、大輪の花になる。」をコンセプトに、大地の輝き(だいだい色)、森林の輝き(緑色)、海の輝き(水色)、そして女性の輝き(桃色)を、山口県の「山」と「Y」、また人が両手を挙げてハイタッチする姿をモチーフに図案化しました。すべてのステキ女子がつながり合うことで大輪の花を咲かせる様子をイメージした応援花火です。

- もくじ
- やまぐち農林漁業ステキ女子とは
私の「ステキ・スタイル」を紹介します！
- 【農業】 山中 歩さん 01
 - 【農業】 須田 加弥子さん 02
 - 【林業】 梶原 優唯さん 06
 - 【畜産業】 齋藤 めぐみさん 08
 - 【漁業】 小林 望さん 10
 - 【農業】 長尾 智美さん 12
 - 【農業】 久保 伶名さん 13
 - 【林業】 園田 智子さん 14
 - 【コラボ】 上妻 あかねさん 15
 - 地域女子会2020の取り組み 16
 - やまぐち農林漁業ステキ女子おすすめレシピ 18
 - 地域デザイナーとのコラボ 20

TAROの
栽培品種は
「さちのか」



「手入れをすると翌日の生育が良くなるんです。やったらやっただけ応えてくれる」と、いちごにたっぷりの愛情を注ぐ山中さん。



「自分が食べて本当においしいと感じるもの」が基準。いちごの味とデータを見ながら常に2人で相談し、何をどう修正するかを決めていく。



TAROでは採れたての完熟いちごを農園併設の直売所で販売。購入の際はホームページで「本日のいちご情報」をチェック！



まぜて食べても
とっても美味♪

農閑期の商品にと昨年開発したジェラートは、周防大島の養蜂家、周南の酪農家とコラボした、それぞれの素材のおいしさを味わえるこだわりの3層構造。



いちご本来のおいしさを届けたい。

岩国市・山中 歩さん

農業は環境を支える大事な職業。

私が農業に興味を抱いたのは、好きなことも得意なこともなく、進路が見いだせなかった中学時代。砂漠緑化に取り組む研究チームのテレビ映像を見て、農業の大事さを知りました。母の実家が梨農家で、おじいちゃんの育てる梨が大好きだったのも影響したと思います。将来は農業をすることに決めました。でも、受験したのは進学校、大学では植物病理学を専攻し、大学院修了後は農業メーカーに就職。結局のところ、私はすぐに農家になれませんでした。

夫が背中を押してくれた。

ところが、大学院時代に出会った夫は、「農業がしたい」という私の言葉に反応して一年後には会社を辞め、就農準備を始めたんです。まさか、先を越されるとは思いませんでした(笑)。夫は就農地を父親の実家がある岩国市由宇に決め、山口県の就農支援制度を使って茨城県と柳井市の農家でそれぞれ一年間研修。夫の研修が終わるタイミングで結婚し、一緒に就農を果たしました。

人の記憶に残るいちごを目指して。

私たちが目指しているのは、記憶に残るいちご。いつ食べても口に入れた瞬間に懐かしい記憶がよみがえる、おじいちゃんの梨のような味。だから、いちご本来のおいしさを、今日も明日も変わらずお届けできるように、日々データを蓄積して、一株ごとに管理をして、いちごにとってなるべく自然で健全な環境を整えることに集中しています。味をつくらせているのは人間じゃなくて、いちごなので。私たちはただ、いちごに向き合うだけです。

死ぬまで農業を続けたい。

収穫の時期は販売が忙しくてなかなか農作業に入れません。本当はこつこつ株の手入れをするのが大好きです。死ぬまで農業を続けられたらって、心底思います。諦めかけた時もありましたが、こうして夢が叶って本当に良かった。元気ないちごを育てて、最もおいしいタイミングで収穫して販売する。そんなシンプルなり方で何とかこまめやってこられた私たちが、農業のハードルを下げる一つのサンプルになればうれしいです。

やま なか あゆみ
山中 歩さん
タロウ
TARO
山口県岩国市由宇町港2-19
<https://taro-ichigo.com/>
就 業 年: 2009年
経営品目: いちご、加工品(ジェラート)
栽培面積: 20a

山中さんのあさ一日

5:00	起床/家事
7:00	朝食/家事/子どもを送る
8:30	出勤/収穫作業
10:00	選別作業
11:00	販売/選別作業
12:00	昼食
13:00	販売/選別作業/発送準備
17:00	子どものお迎え
夕食/入浴/家事	
23:00	就寝

1981年、大阪府出身。中学2年生の時に農業をやると心に決める。近畿大学農学部で植物病理学を専攻し、筑波大学大学院に進学して農学修士号を取得。大手外資系農業メーカーで研究員として働いた後、2009年に農業研修を終えた夫と結婚して岩国市由宇で新規就農を果たす。1男2女の母。

自宅前の畑で
大事に育てる唐辛子が
加工品の主役



マニアックなご主人は唐辛子の魅力にハマリ、各地から取り寄せた50種類もの品種を育てているそう。



グルグルグリーンカレーペーストは、グルグルかき混ぜるだけでおいしいグリーンカレーができあがる優れもの。自家栽培唐辛子、周防大島産のハチミツとレモンを使った、ありそうでなかった純国産ホットハニーソースも開発中。



人気のグリーンカレー。2013年から活躍している中古のキッチンカーは、観光シーズンは須金、オフシーズンは街に下りてイベントに出店。



今年は旧自治会館を
改修して加工場を整備

地域で使われなくなった建物や農地も
“グルグル循環”させようとしている。



グルグル循環する 里山暮らしを実現。

周南市・須田 加弥子さん

農業とは無縁だった。

同い年の夫とは、ストリートダンスのサークルで知り合いました。群馬県出身の夫は、田舎が嫌で東京の大学に進学したわりには方言丸出しで、純粋な人でした。卒業後、私はアパレル、夫は出版の仕事に就いて、結婚後は千葉県松戸市から都内へ通勤。一般的な都会のサラリーマン生活を送っていました。そんな私たちの意識が変化したのは、子どもの誕生がきっかけでした。親になって初めて、食の大切さに気づいたんです。

震災をきっかけに移住。

子どもに安全なものを食べさせたくて、虫嫌いだったのに近くの市民農園で野菜を育てるようになり、ついに兼業農家の夫の実家へ帰ることを決めました。そんな矢先に、大地震に見舞われて。ショックでしたね。福島に隣接する群馬への帰省を諦めた私たちは、社員募集をしていた周南市須金地区の観光農園にたどり着き、果樹栽培を学ぶ目的で移住しました。もともとは群馬に帰る前提だったんです。でもこの通り、今ではすっかり地元民(笑)。

自然の流れの中にいる。

私たち、物事を深く考えないから何でもできるんでしょね。キッチンカーでお弁当の販売を始めたのは、レストラン難民になっている須金フルーツランドのお客さんを見かねてのこと。農園を辞めて新規就農したのは、料理に使う食材の無農薬栽培に専念するためでした。ところが鳥獣被害でうまく野菜ができなくて、猿も猪も食べない唐辛子栽培に特化。その結果、自家栽培の唐辛子で作るグリーンカレーが誕生しました。

加工品で里山を元気に。

「流れ」といえばそうですけど、加工品には大きな可能性を感じています。商品が売れば、原材料が必要になります。鳥獣害に強い唐辛子やハーブを育てる人が増えたら、遊休農地が活用できて、地域に仕事が生まれて、移住者も増えるかもしれない。食べる人も、生産者も、加工者も、みんなが笑顔になれるサステイナブル(持続可能)な循環を広げ、地域を元気にしたいと思っています。子どもたちの故郷を未来につなぐために、役に立てたら最高です。

すだ か や こ
須田 加弥子さん

Fu do ku kan Bamboo

山口県周南市須万2460-6
<https://www.fudokukanbamboo.com/>

就 業 年: 2014年

経営品目: 唐辛子(約40品種)、野菜、水稻、加工品、飲食
栽培面積: 約20a

須田さんのある一日

1978年、千葉県出身。短大卒業後アパレル会社に就職するも、退職して靴のデザインを学び直す。靴メーカーでデザイナーとして働きつつ、学生時代から交際していた夫と2006年に結婚。2007年に長女、2010年に長男を授かり、東日本大震災をきっかけに2011年8月に山口県周南市へ移住。

6:00	起床/家事/朝食
7:30	子どもを送り出す
8:00~	出勤/仕事(加工)
12:00~	昼休憩
13:00~	仕事(加工)
18:00~	帰宅/家事
	夕食/入浴
22:00	就寝

キレイが
よくなるように
念入りに…

道具の手入れも大事な仕事。「できないことができるようになるのが楽しい。わからないことがわかるようになるのが楽しい」と、何事にも前向き。



「一度人の手が入った森はきちんと管理しないと」。仕事に就いてから森林管理に対する意識がより強くなったそう。



「一通りの仕事は経験してみたい」という梶原さんは木の伐採や搬出に必要な技術の習得、資格取得にも挑戦している。



大好きな
仲間たち

現場の仲間に恵まれたおかげで
楽しく働けているという梶原さん。



決して楽じゃないけど
林業って、楽しい！

山口市・梶原 優唯さん

きっかけは環境問題。

小学生の頃からかな、環境問題をテーマにしたテレビを何度か見るうちに、森林に興味を持つようになりました。環境を守るには森や木が一番大切なんじゃないかと考えて、そういう勉強がしたいと思いました。中学生の時に、友達のお兄さんが通っている山口農業高校の農業祭に一緒に行ってみたら、環境科学科で森や木の勉強ができることがわかって。非農家だし、森林に触れた経験もありませんでしたが、迷わず進学を決めたんです。

どうしても現場で働きたかった。

いざ入学してみたら、女子はクラスで私一人(笑)。高校生活は孤独だったけど、森林が果たす多くの役割を学び、「やっぱり森林は大切なんだ」と確信しました。公務員の勉強もしましたが、私は現場で働きたいと思い、就職を希望。でも、それらしき求人は学校に一件もなく、途方に暮れました。そんな私の転機となったのは、3年生の夏に参加したやまぐち森の仕事見学ツアーでした。山口県西部森林組合の永見優子さんに会い、アドバイスをもらえたおかげで、山口県中央森林組合への就職が叶ったんです。

厳しさもあるけど、林業は楽しい。

私は現在防府班に所属して、地ごしらえや植林、下刈りなどの作業を行っています。実際に働いてみると、学校で習ったことは違うことが多くありますね。林業が成り立つことの難しさも知りました。収入のわりにきつい仕事だし、ケガのリスクも高い。でも、林業をもっと知りたいと思うし、毎日がとても楽しい。林業の世界でこれから何ができるのか、自分なりに模索しています。

人間関係の大切さを実感。

そして今、つくづく思うのは、私は人に恵まれているということ。班のみんなが優しくだから、仕事がやりやすいんです。体力的にきつい仕事だから、現場の雰囲気が悪かったら辛いだろうけど、班の人間関係がとてもしでので幸せです。今春は私と同じ山口農業高校卒の女の子が班に入ってくる予定。早く一人前になれるように、技術的にも人間的にも成長したいと思っています。

かじ はら ゆ い
梶原 優唯さん

山口県中央森林組合山口総合支所
山口県山口市大内長野1978

就 業 年：2019年 経営品目：森林施業
所 属：現場作業員

2000年、山口県山口市出身。小中学生の頃に環境問題に興味を持つ。県立山口農業高校環境科学科森林資源コースで森林や林業について学び、2019年に自ら志願して山口県中央森林組合に新卒採用される。県内ではまだ数少ない女性現場作業員で、かつ最年少。

梶原さんのある一日
6:00 起床／朝食／身支度
7:00～ 支所へ出勤／準備
8:00～ 仕事
10:00～ 休憩
10:30～ 仕事
12:00～ 昼休憩
13:00～ 仕事
15:00～ 休憩
15:30～ 仕事
16:30～ 片付け／支所に戻る
17:10～ 帰宅／入浴／食事／自由時間
23:00 就寝

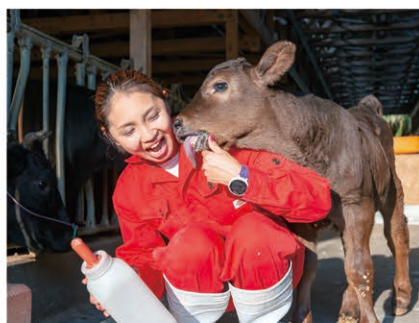


夢叶い、毎日が幸せ。

柳井市・齋藤 めぐみさん

ストレスフリー
だからなのか
牛がとても静か

齋藤牧場では繁殖牛を完全放牧で飼育しており、ひと山を丸ごと放牧に使用している。



のびのびと育つ牛たちは元気いっぱい！「かわいくて仕方ない」と齋藤さん。

子牛も齋藤さんが
大好き♡



牛のふんは堆肥にして
田んぼへ、育った稲は
牛のエサにと、循環型
農業を実践。



エサやり、牛舎の掃除、母牛の繁殖管理、子牛の哺育・育成、経理・事務と、何でもこなす。

完全専業主婦だった。

夫の家は代々水稲農家で、祖父の代に畜産をはじめ、義父、夫と規模を拡大して現在約150頭の黒毛和種を育てています。私は高校を卒業してからずっと専業主婦。夫も両親も手伝えとは言わないし、牧場に足を踏み入れることなく子育てに専念してきました。ところが、十数年前に義父が他界。牧場を一人で切り盛りする夫が気になったのと、遊び相手がいなくて退屈していた下の子の新しい遊び場を求めて、結婚して初めて牛舎に行ってみたんです。

まさかの衝撃！夢の仕事が目の前に。

するとそこにあったのは、母牛の出産シーン。衝撃でした。実は私、助産師になるのが夢だったんです。人間じゃなく牛だったんですけど笑、こんなに近くにやりたい仕事があった！下の子が保育園に入るのを待って牧場を手伝いはじめ、家畜人工授精師の資格も取得しました。数年後には従業員さんを雇うようになり、現在は夫が水稲、私が畜産と、完全に仕事を分担しています。

やりたいことをやれる、充実の日々。

種付けや分娩助産も全部自分でやりますよ。お産にかかわる仕事できて、毎日がとても充実しています。牧場に来るのが楽しくて仕方ないんです。私には農業経験がありませんが、長年培った子育てのスキルと経験がここで活かせる！自然や動物と常に触れ合って、生のエネルギーを感じることができるのも、この仕事の大きな魅力です。好きなことをしているから、牛にも常に心地良い環境を整えてあげたいと思うんです。自分も牛も喜ぶ仕事を目指しています。

目指すは農家の新「3K」。

そして、おしゃれ心も大切にしたい。私はいつもきちんとお化粧をして、ネイルやユニフォームにも気をつけて、女子力をキープしつつ農業を楽しみたいと思っています。農業ってよく「きつい、汚い、危険」と言われるけど、ある意味自由なんだから、自分次第で「かわいい、きれい、かっこいい」の「3K」にもできるんです！農業もおしゃれも妥協せず、自分らしく輝きましょう！

さいとう
齋藤 めぐみさん

齋藤牧場
山口県柳井市伊保庄2306

就 業 年：2010年
経営品目：畜産、水稲(25ha)
飼育頭数：繁殖牛約90頭、育成牛約60頭

齋藤さんのある一日

1981年、山口県柳井市出身。高校の同級生だった夫と結婚し、専業主婦に。子どもは現在、大学3年と1年、高校1年、中学2年。2010年に就農して家畜人工授精師の資格を取得し、4年ほど前から本格的に畜産に従事。コンディショニングトレーナーとしても活躍中。

5:00 起床/自由時間
6:00～ 家事/朝食
8:00～ 仕事
(エサやり、牛舎の掃除等)
12:00～ 昼休憩
13:00～ 仕事(経理等)
16:00～ 仕事(エサやり)
19:00～ 帰宅/家事/夕食/入浴
22:30 就寝





おいしい魚惣菜で 魚食を普及したい！

防府市・小林 望さん



魚すばきい
うっとり♪

向島に来てから魚の捌き方を覚えたというが、三枚おろしから鱧の骨切りまで見事な腕前！



夕方出漁した夫が朝帰港したら、登園前の長男を連れて船から魚を下ろすお手伝い。

いい仕事ができるのは妻の支えあってこそ！



「散らかってたら仕事の効率が悪くなる」と、夫が寝ている昼の間にせせと船を片付ける小林さん。船は常に整理整頓されている。

Before



After



小林家の一番人気はフライ。市場に出さない魚はすべて新鮮なうちに捌き、衣をつけて冷凍ストックしている。

現代のお母さんは、ほんとに忙しいんです。私も時間がない生活を送ってきたからわかります。魚を子どもに食べさせたいと思っても、捌くところから調理するのって、かなりハードルが高い。そこで惣菜加工を思いつき、漁協と県に相談していたら、潮彩市場防府の指定管理者が漁協に決まったんです。これもすごいタイミングでした(笑)。現在女性部で、開店に向けた準備を着々と進めています。獲れたての魚でつくる惣菜を、楽しみにしてください！

おいしい魚を食べさせたい。

日々の暮らしを尊く感じる。

こっちで生まれ育った息子は魚が大好きで、「魚獲ってきて〜」「魚炊いて〜」って言うんです(笑)。お父さんが命がけで獲ってきた魚が、毎日の食卓に並び、人間の原点が見える今の生活は、とても尊いと思います。人として大事なことを、日々の暮らしの中で自然に学べるんです。魚惣菜の製造販売を計画しているのも、そんな日常があったことなんです。海の恵みを無駄にしないように、そして少しでも地域に恩返しできるように。

田舎で子育てがよかった。

あっさり移住を決められたのは、タイミングが良かったから。私は大阪で訪問介護事業と講師業をしていたんですが、ちょうど息子がお腹にいるのがわかって、子育てをするなら田舎がいいと直感しました。それで好きな仕事を離れる覚悟ができました。就業地を防府市の向島に決めたのも、鳥つばい雰囲気の中で、たまたま出会ったおばあさんが親切で、「ここだ〜」って、インスピレーションで(笑)。思った通り、向島は良いところでした。

海なし県からまさかの移住。

はじめはびっくりしましたよ。奈良県には海がないし、漁業なんて見たことも触れたこともないのに、夫が漁師になりたいと言いついて。家族で山登りやダイビングはしていましたが、一次産業に興味があったなんて全く気づきませんでした。でも、決めたら早い人なので、漁師になれる場所を探して全国の就業フェアに足を運び、支援が手厚かった山口県の長期漁業研修に応募してみたいです。

こばやし のぞみ
小林 望さん

山口県漁業協同組合吉佐支店向島支所女性部
山口県防府市大字向島168

就 業 年：2019年

経営品目：小型底びき網漁 満漁丸

1980年、奈良県出身。介護福祉専門学校を卒業し、老人ホーム、訪問介護事業所勤務を経て独立。大阪で高齢者のQOL(生活の質)を重視した介護保険外サービスを展開していたが、漁師を目指す夫とともに、大学生の娘を残して2017年に防府市向島へ移住。同年に生まれた長男、夫と3人暮らし。

小林さんのある一日

6:00	起床/身支度/朝食
7:00	子連れで水揚げの手伝い
8:00	子どもを送る
	加工用のハモを捌く
10:00	自家用の魚を捌く
12:00	昼食/家事
	船の片付け
16:00	夫の出漁準備
17:00	子どものお迎え/夫の見送り
18:00	家事/夕食/入浴
20:00	就寝



ずっと川西で 地域農業を守りたい。

山口市・久保 伶名さん



機械も大好きという久保さん。可能な限り自分でメンテナンスや修理をしている。

直感で選んだ農業の道。
進路指導室の廊下で農業大
学校のポスターを見た瞬間、
「私の仕事だ」って、直感しま
した。農業に触れたこともな
いの、これだ！って。絵を描
くのが好きで、高校卒業後は
美術の分野に進みたいと思っ
ていたんですが、親に言っ
たら即反対。家業の木工になる
のも嫌で、進路の壁に当たっ
ていた時のことでした。農大
進学も反対されましたが、出
願に必要な書類を全部自分で
準備して、印鑑を押すだけの
状態で親に渡したら、しぶし
ぶ許してくれました(笑)

「川西」しかない。
初めての農作業に、寮生活。
農大は慣れないことばかりで
大変でしたが、作物を育てる
喜びを実感しました。二年次
の農家研修では、写真で見た
大型農機に乗りたくて、農事



2017年には農大の後輩が社員第2号に。
責任ある仕事が増え、経営的な視点も備
わってきた様子。

組合法人「川西」に行きたいと先
生に懇願。一カ月間、本当にたく
さんのことを学ばせてもらい、
「ここで働きたい」って心底思
いました。川西が社員雇用をして
いないのは承知の上だったんで
すが、諦められなくて。農大に
戻っても、私は川西の求人を持
ち続けました。
ここで農業を続けたい。
卒論発表会は奇跡の一日でし
た。川西の代表理事が内定通知
書を持って来てくれたんです。
数カ月かけて雇用に必要な準備
を整えてくれたことを知り、感
激しました。晴れて川西の社員
第1号になった私は、毎日楽し
く仕事をさせてもらっていま
す。今では後輩もでき、栽培計画
や作業管理なども行っていま
す。川西のみんなはいつも笑顔
で、和気あいあいとしていて、大
好き！この先もずっと、地域農
業の担い手として、この土地を
守っていきたいと思います。

く ぼ れい な
久保 伶名さん

農事組合法人 川西
山口県山口市深溝933-1

就 業 年：2015年 栽培面積：約155ha
経営品目：水稻、麦、大豆、野菜(たまねぎ、キャベツ、はなっこりー等)

1994年、山口県宇部市出身。大工の家に生まれた3人姉妹の真ん中で、素質を見込まれて育つ
もその気はなく、高校でたまたま目にしたポスターに惹かれ、周囲の反対をよそに農業大学
へ進学。2015年に農事組合法人「川西」の社員第1号となり、現在は主任として現場を束ねる。

久保さんのある一日

6:30	起床/身支度/朝食
8:00	出勤/ミーティング
8:15	仕事
10:00	休憩
10:15	仕事
12:00	昼休憩
13:00	仕事
15:00	休憩
15:15	仕事
17:00	終業
18:00	夕食/入浴/自由時間
23:30	就寝



阿知須の伝統と風景を 未来へつなぐ。

山口市・長尾 智美さん



県産農産物の旬のおいしさを閉じ込めた
「山口きららビクルス」、お土産用に開発し
た阿知須のソウルフード「寒漬」、昔ながら
の「かきもち」。

予定外の就農だった。
幼子連れで療養のために
阿知須へやってきた私が、そ
の年から農作業をしたなん
て、驚きますよね(笑)。夫の両
親は稲作農家で、農閑期には
地元の伝統的な漬物「寒漬」と
かきもちの加工をしていまし
た。私はてっきり脱サラした
夫が一人で農業を継ぐものと
思っていたのに、抗がん剤治
療を続けながら夫を手伝う羽
目になって。翌年には正式に
就農し、母からすべての加工
を引き継ぎました。
やれば楽しい仕事。
農業って、年中仕事が多く
て、あつという間に月日が過
ぎるんです。3年前にビクル
スを商品化した時なんて、開
発から販売まで全部一人でこ
なしていたので、目が回るほ
ど忙しくて、毎日がパンク寸
前でも、おかしいですよ。



繊細かつ丁寧な一つひとつの手仕事で、素
材の個性や魅力を引き立てる。この手間ひ
まが付加価値に。

娘はそんな私を見て、「生き生き
してるね」って言うんです。確か
に、気付けば病氣もどこへやら
(笑)。それに、やるようになったら納
得がいくまでやらないと気が済
まない性分なんですよね。実は
向いているのかもしれない。
苦勞もありましたが、何だかん
だ家には笑いが絶えないし、今
の生活は楽しいですよ。
**地域農業の未来を
照らせるように。**
私たちの目標は、50歳引退。だ
から年内に法人化して、マニユ
アルを整備して従業員に現場を
託し、私たちは営業や経営に力
を入れて、50歳までに会社を軌
道に乗せようって話していま
す。両親から受け継いだ農業と
寒漬、阿知須の伝統と風景を、私
たちの代で絶やすわけにはいき
ませんから。今は踏ん張り時で
す。そして目標を達成した暁に
は、今度こそ子どもの頃に夢見
た主婦生活を謳歌します(笑)

なが お とも み
長尾 智美さん

あぐりてらす阿知須
山口県山口市阿知須1517-1

就 業 年：2011年 栽培面積：水稻約31ha、その他農地8ha
経営品目：水稻、野菜、加工品(寒漬、かきもち、ビクルス)

1976年、新潟県出身。職場の美容室に客としてやってきた夫と意気投合し、半年後に結婚。新聞記
者だった夫の転勤を機に新潟市を離れ、東京に3年、北海道に2年暮らした後、自身の病をきっかけ
に夫の実家へUターン。翌2011年に就農し、現在は主に加工を担当している。夫、娘と3人暮らし。

長尾さんのある一日

6:00	起床/家事
7:30	仕事の準備
8:00	社員出勤/加工作業
12:00	昼食
13:00	加工作業
17:00	直売所へ商品配達/片付け
19:00	帰宅/入浴/家事
20:00	食事
21:00	就寝
23:00	就寝



私の
ステキ・スタイル
コラボ

みかんに新たな価値を生む 木工作家との商品開発。

みかん農家 上妻 あかねさん × 木工作家 榎田 亨樹さん



「人間性を理解して作っているの、本当にありがたい」と上妻さん。一つひとつ手作りの商品も納得の仕上がり。

上妻 昨年はイベント販売ができず予定が狂いましたが、結構売れるんですよ。みかん

と書かれたデザインを形にしてみたのが始まりです。

榎田 母方の祖父が住んでいた家に越して1年経ったころ、上妻さんに呼び出しを食らいました。みかんの木でアクセサリーを作りたいと言われ、その時に受け取った手書きのデザインを形にしてみたのが始まりです。

上妻 榎田さんと初めて会ったのは昨年1月。木工作家が移住してきたという噂は以前から聞いていて、みかんの加工品をいろいろ考えている時にピンときたんです。捨てるしかなかった伐採木が活かせるし、食べ物じゃない商品があっても面白いからって。

果実じゃなくても加工はできる。



幼少期の楽しい思い出が詰まった周防大島で、自然の美しさと木の魅力が伝わる木製品を追求している。

上妻 家も年齢も考え方も近いから、何でもすぐに相談できて安心なんです。馬が合う相手と巡り合えて本当にラッキーでした(笑)。切磋琢磨しながら、互いの視野と可能性をさらに広げていきたいと思っています。

榎田 コンセプトが同じだったんです。もともと島内の間伐材や剪定木など処分される木を活用してきたので、僕はここにあるものに、木工で新たな価値を生み出したいんです。そして上妻さんとのアクセサリー作りは、女性ならではの感性が僕にとっては意外で、良い刺激になっています。

榎田 コンセプトが同じだったんです。もともと島内の間伐材や剪定木など処分される木を活用してきたので、僕はここにあるものに、木工で新たな価値を生み出したいんです。そして上妻さんとのアクセサリー作りは、女性ならではの感性が僕にとっては意外で、良い刺激になっています。

の木は珍しいし、みかンを最後まで大事にしたいという想いも伝わるみたい。榎田さんの腕と人柄のおかげです。

想いと距離の近さが大事。



私の
ステキ・スタイル
林業

原木椎茸で みんなに「よいこと」を。

美祢市・園田 智子さん

結婚後にまさかの就農。

夫と初めて出会ったのも、この場所でした。義父の建設会社でログビルダーをしていた夫に、私の親がテーブルづくりを頼んだんです。織物作家として活動するため実家に戻ってきた私も一緒にについて来ていて、それが縁で今に至ります。でも、当時はまさか自分がここで椎茸農家になるなんて、思いもしませんでした。夫は仕事にやりがいを持っていましたし、私は織物にしか興味がありませんでしたから。

循環する暮らしに共感。

ただ、夫は常々「自分が持ち得るものを活用して生活したい」と口にしていました。夫婦で新規就農を決めた時も、私にはまだその意味がわかりませんでした。7年経った今



時間をかけて栄養を蓄えながらじっくりと育つ原木椎茸は、肉厚で香りも味も濃く、乾燥しても抜群のおいしさ。地元直売所や道の駅で販売している。



農園がある敷地に建つ織物の活動拠点「をりこや」も、木のぬくもりに包まれたログハウス。

林業が広がってほしい。

原木が育つのに10数年、原木に菌を打って椎茸がとれるまでに約2年、とにかく気の長い話です。でも、織物にも通じるんですよ。森に差し込む光や、澄んだ山の空気も好き。きれいになった山の中で気持ちよく身体を動かして、週1日は織物に集中させてもらって、幸せです。山も人も豊かにしてくれる、みんなにいいことをもたらす林業が、もっと広がればいいなと思っています。



こう づま
上妻 あかねさん



上妻みかん園

山口県大島郡周防大島町東安下庄2433-2
<https://kouzumamikan.raku-uru.jp>

1992年、大阪府出身。ボラバイトで訪れた香川県のみかん農園で下松市出身の夫と出会い、2014年に周防大島町へ移住。こだわりの生産方法だけでなく、店舗や個人への直接販売、持続可能な働き方など、みかん農家の新たなスタイルを確立。加工品開発にも取り組んでいる。



うめ だ こう き
榎田 亨樹さん



GUWASHI GREEN WORKS

山口県大島郡周防大島町東安下庄1814-43
<https://www.guwashiwoodworks.com/>

1989年、広島県出身。家具デザイン専門学校卒業後、府中家具メーカーに就職。4年間の営業職を経て、飛騨高山で家具製造を学ぶ。2017年より青年海外協力隊としてドミニカ共和国の木工商品開発を支援。2019年に周防大島町へ移住し、作品制作の傍ら柑橘栽培にも携わる。



その だ さと こ
園田 智子さん



園田きこり農園

山口県美祢市大領町奥分3073-2(「森の駅」併設)
<https://kikorinoen.com>

就 業 年：2014年

施設内栽培面積：3.6a

山林内栽培面積：1ha

経営品目：原木椎茸

1975年、山口県宇部市出身。佐賀大学教育学部総合文化課程造形文化コースを経て専門学校で織物を学んだ後、師匠の下で技術を磨く。独立するためUターンして間もなく夫と出会い、結婚。羊毛の手紡ぎ・手織り教室を立ち上げる。2014年に夫婦で原木椎茸栽培を開始。2児の母。

園田さんのある一日

5:30 起床/家事/朝食
7:30~ 子どもを見送る
8:00~ 仕事
(9:00~11:00配達)
12:00~ 昼休憩
13:00~ 仕事
17:00~ 子どもの送迎/家事/夕食
23:00 就寝

地域女子会2020 の取り組み

ステキ女子を目指して
各地域で様々な取り組みが進んでいます！

2020年
11月

阿武萩地域 女子会



はくさいほ場にてアシストスーツを体験!!

出荷箱も運搬ラクラク！
アシストスーツで働き方を考える！

阿武萩地域では、25名の若手女性農林漁業者が楽しさや悩み等の思いを共感し、共に学ぶ場として「ステキ女子会」を開催しています。

11月の女子会では、ステキ女子が働きやすい環境を整えるため、労力軽減を目的とした“アシストスーツ”の体験や参加者が実践する“体に負担のかからない作業方法”について意見交換しました。

アシストスーツを着用して出荷用はくさい15kg入り段ボール箱や25kgコンテナを持ち上げ、その機能を体感しました。参加者からは、「着け心地に違和感がなく、腰や足への負担が軽減された！」と好評でした。



2020年
7月

阿武萩地域 女子会



この日の女子会でつくったレシピはP.18～19に掲載しています♪

1時間で4品! /

ステキ女子会の仲間の農水産物を使って超時短料理づくり!

料理家の大西綾美先生を講師に女子会メンバーの農水産物(「ダイコン(千石台)」や「男命イカ(須佐)」、「むつみ豚」等)を使い、「地中海風魚介のパエリア」や「キャベツとパンチェッタのプランチャ」他、計4品を1時間で作る料理に挑戦しました。

実習では、素材の味を活かすため、調味料をできるだけ使わないよう工夫しました。参加者は、「忙しい時は、おいしく簡単に作れる料理はとても助かる。良い勉強になった」「パエリアがこんなに簡単にできることに驚いた。子どもも喜ぶと思うので、ぜひ家で一緒に作ってみたい」と話していました。



2020年
12月

下関地域 女子会

一歩先ゆくステキ女子との交流で
気持ちリセット、私ステップアップ!

周南市鹿野でハウレンソウの栽培に取り組まれている白井裕貴さんをお迎えして情報交換会を開催しました。我が家の農業経営をふくぶくファーム(株)として法人化された経験や、雇用のこと、ASIAGAPの認証取得のことなどを紹介いただいた後、おしゃべり半分の本音トークに花が咲きました。農業女子なら誰もが直面する悩みに、前向きに、パワフルに取り組を進められている姿に、下関の女子会メンバーも刺激をもらいました。



白井さんのお話に真剣に聞き入るメンバー

地域の仲間との
絆が深まり
新しい出会いも!

2020年
10月

長門地域 女子会

女子会オリジナルの
から揚げを考えよう!

ながとステキ女子会には、養鶏、和牛、果樹、法人活動への参加、加工等、様々な農業に関わるメンバーがいます。地域産業(養鶏)の活性化に向け、みんなでオリジナルのから揚げをつくらうと、試作・試食会をしました。評判のから揚げの素、米粉、長州黒かしわ、長門ゆずきち等、組み合わせること20種類、ひたすら食べ比べました。一番人気だった長門ゆずきちを使ったから揚げをもとに、長門らしいレシピを考え、食べ方提案ができるようにしていきたいです。



いろいろ
組み合わせて
20種類!!

20種類を食べ比べ!

キャベツとパンチェッタの プランチャ

【材料】4～5人分

キャベツ	1/4個	桜エビ	10g
豚バラ肉	300g	オリーブオイル	大さじ1
すりおろしにんにく	小さじ1	塩	小さじ1/3
アンチョビ	10g	粗挽き黒こしょう	少々

【作り方】

- ① キャベツはざく切り、豚バラ肉は3～4cmに切る。アンチョビは刻む。
- ② フライパンにオリーブオイル、すりおろしにんにく、アンチョビを入れて中火にかけ、香りを立たせる。
- ③ 豚バラ肉を入れて炒め、火が軽く通ったらキャベツを入れて炒める。
- ④ 桜エビを入れ、塩、粗挽き黒こしょうで味をととのえる。



大根のマリネ

【材料】4～5人分

大根	1/3本(300～500g)
塩	小さじ1
オリーブオイル	大さじ1
はちみつ	大さじ1
マスタード	小さじ1
酢	小さじ1

【作り方】

- ① 大根は皮をむき、皮むきスライサーで5～6cmの帯状にスライスし、塩を全体にまぶして10分置く。
- ② ①をしっかり絞って水切りし、オリーブオイル、はちみつ、マスタード、酢とよく混ぜ合わせる。

料理紹介者



Cherie合同会社代表
管理栄養士・料理家

おおにし あやみ
大西 綾美さん

料理教室「Cherie cooking salon」を山口県、東京都などで主催。日本の各地からレッスンに通うほど、大人気。料理の時短ワザや盛り付け、料理初心者でも簡単と定評がある。著書に『1時間で10品超時短つくりおき』（西東社刊）がある。

一言メッセージ

阿武萩地域ステキ女子会に参加させていただき、私の農林漁業女子に対するイメージがガラリと変わりました！皆さまとってもキラキラされていて、自分の仕事に誇りを持ち、今を楽しんで生きているという印象を受け、とても刺激になりました。参加者の皆様といろんなお話をすることができ、とても楽しかったです。ぜひこれからもステキ女子会を続けてほしいと思います。

2020年7月、阿武萩地域ステキ女子会の

「ステキ女子の農水産物を使って1時間で4品！超時短料理、みんなで作ってみよう！」にて料理家・大西 綾美先生に教わったレシピをご紹介します。

ぜひお試しください♪



地中海風魚介のパエリア

【材料】4～5人分

米	2合
いか	1杯分
ピーマン	3個
ナス	1本
オクラ	3本
イタリアントマト	400g
すりおろしにんにく	小さじ1
オリーブオイル	大さじ2
トマトジュース	300cc
水	300cc
塩	小さじ1

【作り方】

- ① トマトは1cmのコロコロ、ピーマンは縦に1cmの千切りに切る。ナスは縦に半分に切り、3cmの薄切りにする。オクラは縦半分に切る。イカは1cmの輪切りに切る。
- ② フライパンにオリーブオイル、すりおろしにんにくを入れて熱し、香りが立ったらピーマン、ナスを入れて炒める。
- ③ トマトを入れ、ドロツとするまで中火で煮詰める。
- ④ トマトジュースと水を入れ、軽く沸騰したら、いかと塩を入れる。
- ⑤ お米は洗わずにパラパラと入れ、お米が頭を出すまで強火で煮詰める。
- ⑥ 蓋をして、弱火にして米の芯がなくなるまで炊く。オクラものをせて火を通す。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、予定していたマルシェの開催等、様々な行事が中止となりましたが、JAGODA山口（公社）日本グラフィックデザイナー協会山口地区にご協力いただいていたのが「デザイナーとのコラボ活動」です。私たちが大切に育てた生産物やこだわりの加工品を販売先でどう見せていくか、デザイナーの皆さんの力を借りて、売場づくりについて考えました。



2020年9月

第1回 交流する

**ステキ女子とデザイナーが
つながるための交流会**

やまぐち農林漁業ステキ女子とデザイナーが会い、お互いを知り、理解を深めるための交流会を、東部・西部の2会場で実施しました。



2020年10月

第2回 企画する

**ステキ女子の想いを
形にしていくためのワークショップ**

ステキ女子とデザイナーが東部・西部会場でそれぞれチームを組み、売場づくりの方向性と具体的な内容について検討しました。



東部チーム

住宅展示場でのマルシェを想定

- ファミリー層をターゲットにする
- 「ふれあいの場」「発信の場」にする
- 農林水産物のない時期は体験を売る？！

西部チーム

**アウトドア用品等販売店での
マルシェを想定**

- 自然環境への意識や食材へのこだわりが高いお客様が集まりやすい売場でどう発信する？

マルシェへの
共通の想い

誰が、どんな思いで、
どうやって育てているのか…、
私たちの仕事や農林水産物を
知ってもらう場にしたい！

2021年1月

第3回 披露する

東部会場と西部会場を
オンラインでつないでの
情報交換も！

**デザイナーの力を借りた
試作品の発表・意見交換**

東部チーム・西部チームがそれぞれデザインした売場の試作品を展示・発表し、ステキ女子とデザイナーとが意見を交わしました。



東部チーム試作品

やまぐちパクパク

山口県を「パクパク食べる」「パクパク学ぶ」
食育をテーマに、山と大地を唇に見立ててパクパク。
口角を上げてみんなの笑顔イメージ。



農林水産物の旬ではない時期にも足を運んでもらえるように、エコバッグに食育のツールを詰め込んだ「ぱくぱくぱく」



西部チーム試作品

さんちのマルシェ

「産地の」「〇〇さん家の」をイメージ
コンセプトワードは「シンプル」「素直」「上質感」。
気取らず、飾らず、ありのままの魅力をそのまま伝える。



読み物でもあり、包装にも使えるラッピングチラシは活用の幅が広がる！



今後は... 「ステキ女子」マルシェの実践に向け、今回、ご提案いただいた内容をもとにマルシェプロジェクトメンバーを中心に検討を進め、形にしていきます！

